

第2回

荒木 健志郎

作曲発表コンサート

現代に生きる古典派!!

作曲家 荒木健志郎
Kenshiro Araki

Program

- ピアノソナタ第43番ハ長調Op.175
- ピアノソナタ第45番変ホ長調Op.199
- ヴァイオリンソナタ第1番Op.200-1
- ヴァイオリンソナタ第2番Op.200-2
- ベートーヴェン作曲
ヴァイオリンソナタ第9番(クロイツェル)Op.47

ヴァイオリン 朝来桂一

Keiichi Asaki

ピアノ 塩川正和

Masakazu Shiokawa

2021

5.1

13:00開演(12:30開場)

アクロス福岡

円形ホール

Ticket 一般 3,000円 学生 2,000円

チケット取り扱い チケットぴあ TEL.0570-02-9999 (Pコード186458)

【企画】音楽工房FDK TEL092-928-0632 受付時間:平日9時~17時、土日10時~18時

【後援】一般社団法人東京国際芸術協会(TIAA)・一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(PTNA)



作曲家 荒木健志郎

Kenshiro Araki

福岡県出身、3歳の時にヤマハ音楽教室でピアノやエレクトーンを習い始める
幼少の頃より作曲やオーケストラなどに興味を持ち、14歳頃に作曲を独学ながら和声や対位法、管弦楽法を学
び15歳の時、最初の作品であるピアノソナタ第1番Op.1-1を作曲し、その後本格的に作曲を学びピアノ曲から
オーケストラ作品まで様々なジャンルを作曲する。

作風は主に古典派音楽を追究しており、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン
特にベートーヴェンからは作風や思想に共感し、自身の作風に大きな影響を与えている
現在は作曲、編曲、楽譜浄書や演奏会企画等幅広く音楽活動を手掛けております。

【経 歴】

2018年荒木健志郎作曲発表コンサート福岡公演開催

2018年第25回TIAA全日本作曲家コンクール室内楽部門にてクラリネットソナタ第2番作品191番を入賞

2019年第25回TIAA全日本作曲家コンクール入賞者披露演奏会にてクラリネットソナタ第2番作品191番を初演、
2020年荒木健志郎クラリネットソナタCD発売ならびに発売記念コンサート東京公演開催

2021年エリシオン・フィルハーモニー・オーケストラ楽団Re Compose Classic佐賀公演にて交響曲第6番作
品197番を初演、作曲を野崎 由紀夫、中山 博之、ピアノを宝木多加志、井上 正俊、指揮を伊藤 幸夫の各氏に師事
第25回TIAA全日本作曲家コンクール入賞

東京国際芸術協会会員

エリシオン・フィルハーモニー・オーケストラ

作曲・アレンジ担当

ヴァイオリン 朝来桂一

Keiichi Asaki

大分市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻
卒業。在学中より演奏活動を始める。10歳時に世界的ヴァイオリニスト五嶋みどり氏によるレクチャーコンサート
に選出され出演。その様子がドキュメンタリー番組『切れた弦が心をつなぐ』として放映。その後、日本人中学生と
して奨学金を受け、アスペンミュージックフェスティバル(アメリカ)に招待され修了。帰国後、第1回別府アルゲ
リッチ音楽祭若手演奏家コンサート出演(1998年)。これまでゴールドベルク記念音楽祭、指揮者ジョン・ミョンフ
ン氏による「インチョンアーツフェスティバル」指揮者大友直人、アラン・ギルバート氏による「mmcj」など国内
外の音楽祭に招待され出演。著名芸術家との共演を重ねるほか詩人谷川俊太郎氏等による詩と音楽のコンサ
ート参画(わくわくどきどきことばであそぼう/声のまぼろし)。落語家5代目桂米團治師匠による【おべらくご】九州初
披露公演の舞台音楽などを手がける(モーツァルト作曲・フィガロの結婚/コンサートマスター)。2018年度より
JR九州クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」においても定期的に出演し、演奏を届けるなど大分市出身の音楽家
として幅広く親しまれている。第20回記念別府アルゲリッチ音楽祭オープニング若手演奏家コンサートスペシャ
ルにヴァイオリニストとして出演(2018)



ピアノ 塩川正和

Masakazu Shiokawa

福岡県出身。3歳よりピアノを、8歳よりヴァイオリンをはじめめる。

福岡第一高等学校音楽科卒業。在学中に福岡県高等学校音楽文化連盟コンクールにてグランプリ、ショパンコ
ンクール in Asia 協奏曲 C 部門九州大会金賞、北九州芸術祭クラシックコンクール一般の部において最年少17
歳で入賞及び県知事賞を受賞するなど、コンクールにて研鑽を積む。

また、ボルドーにて開かれたユーロ・ニッポンミュージックフェスティバルに招待演奏者として参加し、ソロ曲及
びシュペーゲル弦楽四重奏団とシューマン作曲のピアノ五重奏曲を演奏し好評を博す。

フランスのパリ・エゴールノルマル音楽院にフジ・サンケイスカラシップの奨学金を受け授業料全額免除で入学。
20歳にて同校の高等教育課程ディプロムを、翌年には高等演奏課程ディプロムを取得。エクソプロバンス・
ピアノコンクールにて3位受賞、フラム国際コンクール及びフォーレ国際コンクールにてファイナリスト。

パリ市内にてソロリサイタルやサン＝ルイ島のテアトルにて日本歌曲を中心としたテノールとピアノのデュオリ
サイタルを行う。またラヴェル等のフランス印象派の作曲家作品を中心としたリサイタルやアルベニス作曲の組
曲「イベリア」の全曲演奏を行うなどのほかに、2台ピアノでのリサイタル、管弦楽器との室内楽、ギターとのアン

サンプルなど多岐に渡る室内楽のコンサートを開催する。

また、フルートやサクソフォーンなどの木管楽器をはじめ、弦楽器、声楽、金管楽器や打楽器などのあらゆる楽器とのデュオや伴奏活動も
積極的に行っている。北九州芸術祭、長江杯国際コンクール等にて優秀ピアノ伴奏者賞を受賞。

現在は東京を中心に九州など日本各地で演奏活動、及び後進の指導を行なっている。これまでにピアノを黄海千恵子、故宝木多加志、
ブルーノ・リグット、イヴ・アンリ氏に、室内楽をクロード・ルローン氏に師事。(Web <http://masakazu-shiokawa.com>)